

## 第55回岩手県スポーツ少年団ソフトボール大会 開催要項

- 1 主催 岩手県スポーツ少年団、(公財)岩手県スポーツ協会、  
(一社)岩手県ソフトボール協会
- 2 主管 (一社)岩手県ソフトボール協会県南地区協議会、一関市ソフトボール協会
- 3 後援 岩手県教育委員会、一関市、(一社)一関市スポーツ協会
- 4 会期 令和8年8月1日(土)～8月2日(日)  
(雨天の際の日程変更については、監督会議で協議する)
- 5 会場 一関市川崎町 川崎運動広場 住所：一関市川崎町薄衣字法道地 152-5  
電話：0191-43-4334 (川崎体育館センター)
- 6 出場資格 (1) 令和8年度(公財)日本ソフトボール協会に登録してあるチームであること。  
(2) 岩手県スポーツ少年団に登録している小学生のソフトボールスポーツ少年団であること。(主競技をソフトボールとしている多目的少年団を含む)
- 7 チーム編成 (1) 引率責任者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、体調管理者1名、選手25名以内とする。合同チームを認める。  
(2) 選手がスコアラーを兼ねる場合を除き、スコアラーとしてベンチ入りする場合は公式記録員の資格を有する者であること。  
(3) チームの中に①～⑤の何れかの資格を有する者がいること。  
①公認ソフトボールスタートコーチ  
②公認ソフトボールコーチ1 ③公認ソフトボールコーチ2  
④公認ソフトボールコーチ3 ⑤公認ソフトボールコーチ4  
(4) 指導者等の資格保有者(指導者、スコアラー)の確認は、チームがベンチ入りする際(フィールドイングの前)に毎試合行う。その際、資格証と有資格者本人が特定できる顔写真付きの身分証を併せて提示すること。なお、参加者の中に指導者資格保有者がいない場合は棄権と見なす。
- 8 参加申込 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ「シクミネットに登録した、監督、コーチ、選手の一覧表」と「各スポーツ少年団の令和8年度登録名簿の写し」と「上記の指導者及び公式記録員資格証の写し」と参加料を添えて7月21日(月)必着で下記に申し込むこと。なお、参加申込後の選手変更は認めないので注意すること。(参加申込書はそのまま複写印刷するので、黒字で楷書にて明確に記入し、必ず郵送する事)  
【参加申し込み書送付先】  
〒029-1202 一関市室根町矢越字山古沢87  
一関市ソフトボール協会 事務局長 村上健一  
携帯：080-1803-0973 Email：knmurakami12345678@gmail.com
- 9 参加料 1チーム10,000円。
- 10 組合せ抽選 令和8年7月25日(土)午後4時から開催責任者立会いのもと、「川崎市民センター創作室」で主管協会が公開代理抽選で行う。

組合せ抽選の結果は、岩手県ソフトボール協会ホームページに掲載する。

- 1 1 監督会議 大会当日、午前8時より大会本部前で行う。  
\* 全チームユニフォームを着用のうえ参加すること。監督会議に参加しないチームは、棄権とみなします。
- 1 2 競技規則 2026年度オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- 1 3 試合球 (公財) 日本ソフトボール協会検定ゴム 1 1 inch ナガセケンコー製とし、主催者が準備する。
- 1 4 競技方法 (1) 男子・女子ともに6チーム参加時は、初日2ブロックのリーグ戦、2日目は上位2位の計4チームによるトーナメント戦とし、3位交流戦を行うものとする。ただし、5チーム以下の場合は、総当たりのリーグ戦により順位を決定する。  
(2) 全試合3回15点、4回10点、5回以降7点差のコールドゲームを採用する。  
(3) 点差によるコールドゲームを併用し、準決勝・決勝以外は70分の時間制限を採用する。制限時間を越えて新しいイニングに入らない。  
制限時間を経過し同点の場合は、次のイニングからタイブレークにより試合を継続する。ただし、タイブレークは1イニングとし、なお同点の場合は抽選(最終打順)により勝敗を決定する。  
(4) 準決勝・決勝も点差によるコールドゲームと併用し、80分の時間制限を採用する。試合制限時間を越えて新しいイニングに入らない。制限時間を経過し同点の場合は、次のイニングからタイブレークにより試合を継続する。ただし、タイブレークは1イニングとし、なお同点の場合は抽選(最終打順)により勝敗を決定する。  
(5) サスペンデッドゲームを採用する。
- 1 5 傷害処置 (1) 主催者は選手の傷害について、応急処置の他は、一切の責任を負わない。  
(2) チームはスポーツ傷害保険に加入して参加すること。
- 1 6 宿 泊 宿泊の斡旋は、特に行わない。
- 1 7 開 会 式 午前8時30分より、A球場で行う。
- 1 8 表 彰 優勝チームに優勝旗、準優勝チームにトロフィー、並びに第3位まで賞状を授与する。
- 1 9 費 用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 2 0 帯同役員 (1) 参加するチームは、公認審判員1名と公式記録員1名を帯同するものとする。  
帯同しないチームは、原則として棄権とする。帯同審判員、帯同記録員が欠けた時は、その理由を問わずそのチームは出場権を失うものとする。  
(2) 2日目も試合のあるチームは、2日目も帯同すること。  
(3) 帯同審判員・帯同記録員は、大会当日午前7時40分までに、大会本部に集合し大会審判長及び大会記録長の指示に従い、試合の審判及び記録の業務にあたること。  
(4) 帯同審判員及び帯同記録員の旅費、宿泊費はそのチームの負担とする。昼食については、大会本部で用意するので、チーム受け時に1人700円を納入すること。
- 2 1 そ の 他 (1) 本大会は、新型コロナウイルス感染対策(5類移行後の内容に沿って)ガイドラインにより開催する。  
(2) 優勝チーム、準優勝チームは、東北大会への出場権を得るものとする。チームが東北大会出場を辞退した場合には、準決勝出場チームより出場権を与える。  
出場を辞退したチームは、原則として次年度の同大会への出場は認めない。  
また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。

- (3) 組合せ決定後に出場を辞退した場合には、原則として次年度の同大会への出場は認めない。またチームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
- (4) 登録違反については、違反が発覚した時点で没収試合とする。原則として次年度の同大会への出場を認めない。また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
- (5) 出場チームは必ず引率責任者によって引率され、選手すべての行動に対して責任を負うものとする。
- (6) 荒天により試合が大会日程中に消化できない場合は、主催者が協議のうえ決定する。
- (7) 雷音発生時は、直ちに試合を中断する。
- (8) 熱中症対策として、競技本部または担当審判員が休憩を必要と認めた時は、試合を中断して休憩を取る場合もある。この休憩時間は、試合時間を含めないものとする。
- (9) 大会期間中に2種類以上のユニフォームを着用するチームにおいては、監督会議で当該ユニフォームを提示すること。
- (10) 本大会プログラムの無断転用を禁ずる。
- (11) 本大会に関する不明な点については、申込先に問い合わせること。

※『第25回内田清杯東北小学生男子・女子ソフトボール大会』

日時、場所：9月12日～13日 山形県 南陽市

#### 「チーム編成特例」 小学生男子チームの編成について

岩手県小学生大会の男子チームの編成について、下記の基準により女子の登録を認める。

- ① 男子の選手だけで25名に満たない場合は、7名以内に限り女子の登録を認める。
- ② 男子チームに登録した女子選手は、女子チームに登録できないものとする。従って、男子チームに登録した女子選手は、女子の大会には出場できない。
- ③ 選手の登録は、途中で変更できないものとする。ただし、上記①の限度内で追加登録を認める。
- ④ 登録違反が発見された場合は、関係する男子チームと女子チームはその時点で失格となり、その年度内、以後の大会には出場できないものとする。また、監督、コーチは、翌年度1年間出場停処分を受けることになる。
- ⑤ 試合の場合、女子の出場は「常時3名以内」とする。
- ⑥ この規程は、岩手県小学生男女大会、岩手県スポーツ少年団大会にも適用するものとする。

#### 「合同チームの編成について」

\*スポーツ少年団大会の合同チームの編成については、下記の基準で認める。

- ① 各々のチームは、県協会に登録している名称（連名）で申し込むこと。参加については、愛称の使用を認める。
- ② 選手の登録は、途中で変更できないものとする。申し込み締め切り以降の追加は認めない。
- ③ ユニフォームナンバーの重複は無いこと。（シクミネット登録用紙に変更するユニフォームナンバーを朱書きし、申し込むこと）。
- ④ ユニフォームの着用については、各々の登録チームのものを着用するか、1チームの統一したものを着用しても良い。
- ⑤ 補強目的の合同チームは、認めない。
- ⑥ その他、不明点は参加申し込み先に問い合わせること。